

「独創」「活力」「研鑽」を社是に、「信頼と革新」で地球規模の暮らしを支える

船舶用甲板機械及び各種デッキクレーン等を「MANABE」ブランドで製造する総合メーカー。創業以来、ディーゼル式・電動式・電動油圧式の各種船舶用デッキクレーンやウインチを「一貫生産体制」で生産。業界に先駆けてインバータ制御電動ウインチを開発。卓越した技術力と徹底したアフターサービスが同社の強み。日本国内一般商船向けシェアは、ウインチが20%、デッキクレーンが30%強を占める。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 愛媛県今治市高部甲633-3 | ● 設立 | 1960年 |
| ● 電話/FAX | 0898-41-9217/0898-41-6568 | ● 資本金 | 6,000万円 |
| ● URL | http://manabezoki.co.jp | ● 従業員数 | 216人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 眞鍋 将之 | | |



生産性向上

ものづくり

スピーディで細やかな徹底したアフターサービス

他社比優位性の高い同社製品について、販売後も世界30箇所に持つサービス拠点を通じて、充実したメンテナンスサービスをグローバルに提供し、独自性を強化している。さらに、効率的・効果的にメンテナンスサービスを行うため、先端のIT技術に着目。IoT (Internet Of Things) 技術を活用したリモートメンテナンス技術の開発や、AIを利用した過去トラブルの解析などで、真因把握の高度化・迅速化を図り、サービスレベルの向上を図る取組みを積極的に推進している。



アフターサービスは最強の営業

生産性の向上、原価予算の確立とその運用による生産業務の効率化

トヨタ生産方式を導入して改善活動を実施し、製造リードタイムを半分以下に短縮するとともに、工場別・工程別に標準時間の大幅な削減を達成。さらに全4工場における製造工程のムダ取り改善活動を通じて、作業分析に始まりムダ取り改善に至るまでのIE手法とそのノウハウを体得している。こうした活動を通じて整備された原価管理のペースとなる標準時間に基づき、生産計画、工数計画、および実績工数集計の仕組みを構築、運用することで生産業務の効率化を実現している。



誇れるものづくり

各部門一丸となって取り組む一貫生産体制とその継承

同社は、機械部品の殆どを自社製造し、各部門が一丸となって取り組む一貫生産体制を確立している。この体制が、優位性のある商品開発や、製品・製造工程の改善、トラブル発生時における部品供給の短納期を可能化。さらに、長年培ったノウハウ、ゼロから新規開発に臨む技術力で、顧客要望にも徹底的に応えてきた。こうした技術伝承のため、過去の技術を受け継ぎながら、開発、設計、販売、アフターサービスを行なう取組みを若手主体に推進しているほか、働き甲斐のある職場づくりのため、人材育成等、各種制度の再構築や風土改革を進めている。



社員一同